

令和6年度シラバス

教科	情報科	科目	情報 I	単位数	2
学年	1 年生	コース	共通		
使用教科書	情報 I (日本文教出版)				
副教材等	情報 I サブノート (日本文教出版)				

1 学習目標と評価の観点の趣旨

学習目標	情報の特徴と情報化が社会に及ぼす影響を理解するとともに、情報機器や情報通信ネットワークなどを適切に活用して情報を収集・処理・表現させる能力や効果的にコミュニケーションを行う能力などの情報リテラシーを養い、情報社会に積極的に参画する態度を育てるとともに情報社会を生きるために必要な基本的な ICTリテラシーを身に付ける。		
評価の観点の趣旨と定期考査の配点基準	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	情報社会、ネットワークコミュニケーション、情報の安全性、デジタル化について、問題の解決方法などの情報リテラシーについて理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 定期考査の配点基準 (目安) 60 %	情報社会に関わる諸事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、情報社会にみられる課題の解決に向けて構想したり考察したことを効果的に説明したりしている。 定期考査の配点基準 (目安) 40 %	主体的に学習に取り組む態度 コンピュータの使用や情報発信に対するマナーなども身に付けながら課題を主体的に解決しようとしている。

2 学習計画と評価方法

学期	単元	主な学習活動	考査範囲
1 学期	1 章 情報社会の問題解決	<ul style="list-style-type: none"> インターネットの特質と個人の責任、心構えについて考える。 コンピュータを利用した犯罪と被害者にならないための心構えを身に付ける。 メディアの特徴とメディアリテラシーを身に付ける。 情報の特性や相手の状況を考慮したメディアの選択ができるようになる。 	期末考査

2 学期	2 章 コミュニケーションと情報デザイン	<ul style="list-style-type: none"> パスワード、コンピュータウイルス、不正アクセス、ファイアウォールについて理解する。 個人情報とその保護、個人情報の流失防止方法について考える。 アナログとデジタルの意味と情報量について理解する。 2進数、10進数、16進数について理解する。 様々な情報のデジタル化とその特徴を考える。 	期末考査
	3 章 コンピュータとプログラミング	<ul style="list-style-type: none"> コンピュータのしくみについて理解する。 論理回路について学び、コンピュータ内部での情報の扱いについて考える。 アルゴリズム・プログラムを通して論理的な思考ができるようになる。 	期末考査
3 学期	4 章 情報通信ネットワークとデータの活用	<ul style="list-style-type: none"> プログラミングを活用し、データの効率的な利用の方法を考える。 モデル化とシミュレーションについて理解する。 プログラミングを活用し、シミュレーションについての理解を深める。 	期末考査
		<ul style="list-style-type: none"> 情報通信ネットワークのしくみについて理解する。 コンピュータネットワークの全体像と構成要素について学び、情報通信ネットワークでデータがどのようにやり取りされているかを理解する。 暗号化技術など、情報セキュリティについての理解を深める。 情報システムにおけるデータベースの役割とデータの流れを理解する。 問題解決にデータ活用が有効であることを理解し、データの収集法を身に付ける。 社会の中の情報システムが、生活をどのように支えているかを考える。 	学年末考査
各学期の観点別学習状況の評価の方法 知識・技能＝定期考査および実習課題、ワークプリント 思考・判断・表現＝定期考査および実習課題、発表、グループでの討議 主体的に学習に取り組む態度＝実習課題およびノート、レポートの記述内容、授業中の発表 学年末の評価 各学期の成績から算出して観点別学習状況評価と評定を出します。			